

# 剣岳北方稜線「赤谷山」へ行く

2002年夏山情報13号 8 / 29

いよいよ、待望の・・・実は、昨年登ろうと思ったのですが・・・大ブナクラ谷を直登し、「大猫山」へ登ってしまったので。・・・ということで、「赤谷山」は初登頂ということになります。  
久しぶりに復活した登山者の私にとって、あまりにも遠い、夢のような存在の「赤谷山」でした。  
・・・しかしながら、たくさんの方のボランティアのおかげで「赤谷山」はすばらしく変貌しました。  
今回は、溪流・谷を遊行し、稜線は多少のやぶごぎを覚悟しましたが、赤谷山へのコースはあまりにも快適なコースとなりました。整備されたコースはまるで遊歩道のようなです。  
稜線はさすが、ちょっとしたやぶごぎがありましたが、ほとんど難儀するほどではありません。  
紅葉のための樹木もびっしりで、シーズンが楽しみなので、もう一度来たいと思います。

馬場島 5:30 - ブナクラ谷登山口 6:00 - ブナクラ峠 8:20 - 赤谷山頂上 11:00 ~ 12:00 - ブナクラ峠 13:10 - ブナクラ谷登山口 15:00

登りきった三角点のピークからの展望・・・ブナクラ峠が一望できる。  
中央は、真正面に見えるようになってきた「猫又山」・・・右は、ようやく近く迫ってきた「赤谷山」



途中の登山道には、まだまだ初夏の花・真夏の花もたくさん見られる。



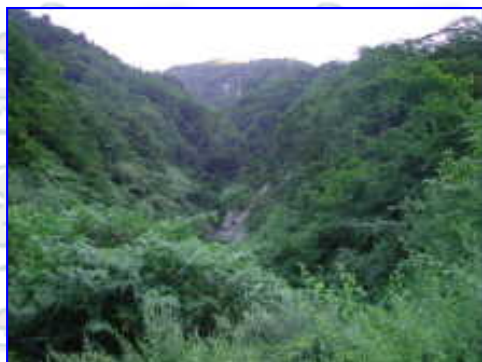
ブナクラ峠にある石仏・・・中央は、これから登る「赤谷山」への稜線。  
右の写真は、猫又山への稜線・・・この登山道は、まだ整備が充分でなく、藪こぎが大変そうだ。



長く続いた、山腹に沿った登山道が突然、谷沿いの道に変わった・・・ここからは「ブナクラ峠」へ直登だ。  
中央は、ブナクラ谷の上部、ここからの眺めは、ブナクラ谷を一望にできる。



登山口から登り始めるとすぐに支流の小ブナクラ谷が見える、ここを登ると「大猫平」へ出ます。次の写真は、大ブナクラ谷・・・ここは昨年間違えて登ったところ、「大猫山」へ登ることができます。  
最後の写真は、しばらく山腹を通った道から突然、谷へ出たところ・・・秋の代名詞・・・「萩の花」が一面に。



とうとう、頂上についた。・・・ブナクラ峠から頂上までは意外と時間がかかってしまった。  
・・・今日は、少し、寝不足と疲れがたまっているようだ。  
しかしか、頂上は予想以上に景観がすばらしく・・・圧倒されてしまった。  
紅葉のための樹木もご覧のようにたくさんあり、秋の季節を迎えようとしている。



「赤谷山」への稜線の様子、しっかりした登山ができています。  
危険なところは、ほとんどありません。



ここからの剣岳への稜線は、難易度が高く、勧められません。  
「赤谷山」の頂上は大変広い。しかも草むらぐ、ふかふかとベッドのようだ。・・・あまりに良い天気なので、1時間ほど「昼寝」をしてしまった。・・・至福の1時間だった。・・・



頂上の花たちも、まだまだこれからの花もたくさんあるようだ。  
日差しが強く輝いてみせる。



ブナクラ峠からの展望・・・左から「大日岳」「剣岳」「後立山連峰」



稜線は、いよいよ秋の気配を感じるようになってきた風景。実も赤く染まり・・・紅葉ももうすぐだ。



稜線を彩る・・・花々、紅葉が近いが、まだまだ咲いている花もある。



頂上からの展望は、360度のパノラマ。後立山連峰—剣岳北方稜線—大日岳—富山平野  
いつまで見ても飽きがこない景観のすばらしさに、時の経つのも、ついつい忘れてしまいそうだ。

